

第2章

マイパソコンを持とう



第2章 マイパソコンを持とう

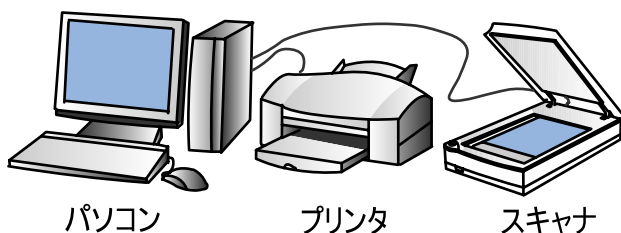
1. パソコン購入ガイド

ネットワークにつながった生活は必要な情報を瞬時に取り込むだけでなく、私たちの生活の中の情報も整理、統合してくれます。無駄やむらのない快適な生活をもたらしてくれることでしょう。書類などよく探す人がいますが、もしパソコンの中に取り込んでいけば、中に入っている言葉や、ファイル名で即座に探すことができます。書類検索や、メールの検索はパソコンのもっとも得意とするところです。

(1) 家庭でそろえたい

家族で使うパソコン、どんな構成がいいのでしょうか。パソコンがあって、カラープリンタがあり、さらにスキャナがある。

家族の記録用にデジタルカメラも欲しいですね。



・パソコン

電気屋さんに行くと、ずらっと並んだパソコン。どれにしたらいいのか困るのも無理がありません。

しかしパソコンのふたを開けてみれば、各社共通の部品を使っていたり、結構似ているものです。

ここではパソコンの基本的な見方について説明します。それぞれのパソコンの前には必ず次のような表示があります。

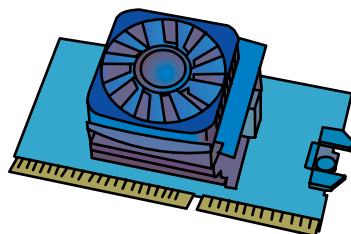
・CPU（セントラル・プロセッシング・ユニット）

まさにパソコンの頭脳、自動車にたとえるとエンジン部分です。モバイル Intel®Celeron™ プロセッサ 433MHz などの表示があります。前半はエンジンの製造会社、トヨタ、ホンダといったイメージです。次の 433MHz はエンジンの大きさを示します。1500cc よりも 3000cc のエンジンの方が、人数が多くても快適に走ります。そのようなイメージを持ってください。

5年くらい前は 25MHz のエンジンが主流でしたが、今は 733MHz にまで進んでいます。しかし家庭で使うには 433MHz もあれば十分でしょう。

パソコンの CPU もワープロと表計算など同時に仕事をする事が多々あります。

店頭に行くとそれぞれのパソコンの前に表示があります。



・RAM（ランダム・アクセス・メモリー）

CPU

最後だけをとってメモリーと呼ばれます。パソコンの中で7人の小人のごとく、いろんな仕事をしてくれる所です。

標準で 64MB（メガバイト）など表示されています。家庭ではこれで十分かと思われませんが、デジカメの写真を加工しながら文書に取り込んだりする作業が多い人は、128MB くらいは欲しいところです。ソフトに作業場を与えるのがメモリーです。

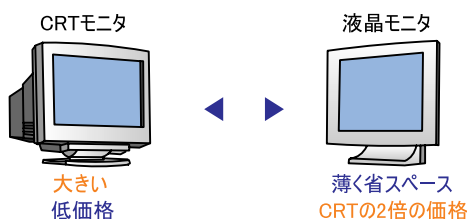
メモリーが大きいと、処理速度も速くなり、快適な作業となります。「メモリーはあとどれくらい積めますか？」と購入時に確認しましょう。

・ディスプレイ（表示パネル）

15 型 17 型などがあります。画面の大きさを意味しますが、28 型テレビなどでおなじみの大きさ表示です。

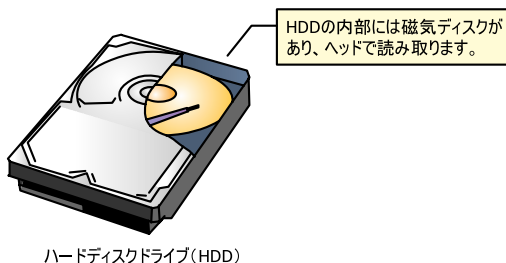
目にやさしいといわれる薄型液晶が人気商品のようにです。一般のディ

スプレーと比較して値段は約2倍程度になります。



・ HDD (ハード・ディスク・ドライブ)

13.6 GB×1 基内蔵など表示されています。



パソコンを扱い始めると次々にデータ(文書・画像・メール)がたまっていきます。パソコンの倉庫＝ハードディスクは大きいほど便利です。10GB 以上は必要と思われます。

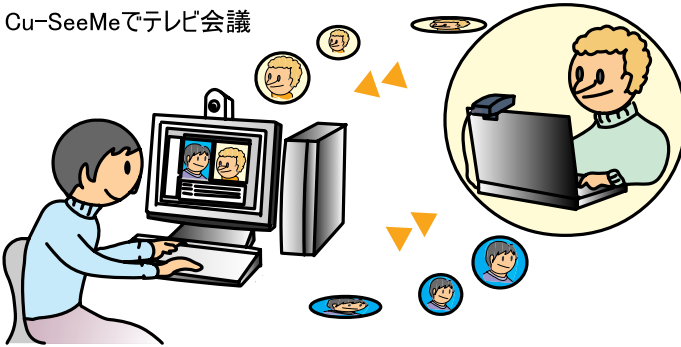
GB はギガバイトと呼ばれます。1 ギガはフロッピー約 1,000 枚分です。デジカメでとった写真はフロッピー 1 枚 (1.44MB) には大体 20 枚程度入りますが、1 ギガには 20,000 枚も入ります。

・ ステレオスピーカー

パソコンに音楽 CD を入れて仕事をしながら、音楽を聴くことができます。携帯型モバイルノートパソコン以外は必ずといっていいほど CD-ROM ドライブがついています。この CD-ROM に一般の音楽 CD を入れることで再生できます。

インターネットは Cu-SeeMe などのテレビ会議システムが可能ですので、是非そろえておきたい機器でもあります。

Cu-SeeMeでテレビ会議



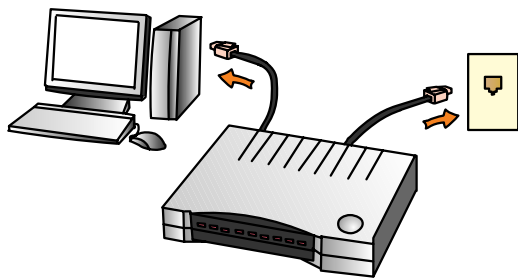
・モデム

これにはちょっと注意が必要です。自分がどの方法でインターネットに接続するのかにもよります。

一般の電話線利用であれば不可欠のものです。ISDN からの接続であればモデムは必要ありません。

最大通信速度：データ 56,000bps（受信）、33,600bps（送信）／FAX 14,400bps、など表示されています。bps とはビット・パー・セカンドと読み、インターネットに接続したとき、1秒間にどれだけ文字や画像が送受信できるかのスピードです。

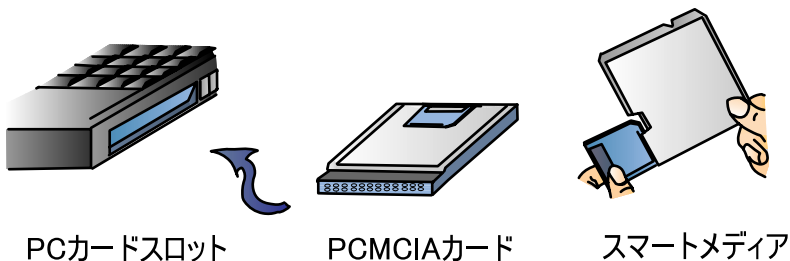
漢字やひらがなは1文字送信するために16ビット（2バイト）が必要です。



・PCカードスロット

自宅ではデスクトップパソコンを使い、仕事ではノートパソコンを持ち歩くというお父さんも増えているようです。ノートパソコンの記録やデジタルカメラの記録をカードに記録しこのスロットに差し込み、自宅

で簡単にデスクトップパソコン内に取り込むことができます。デジタルカメラで撮った画像を、スマートメディアアダプターカードを介してこのスロットに入れば、簡単に取り込むことができます。



・USB（ユニバーサル・シリアル・バス）

今までプリンタは、プリンタ接続の口、スキャナは別の口へと、活用する機器によって接続場所が異なっていました。これをすべて一つの口につないで、最大 127 台までつないでしまおうとするものです。

マウスがキーボード横の USB ポートから出ている機種も出てきました。プリンタやスキャナも USB 対応の機種が発売されています。

(2) パソコン周辺機器

・プリンタ

文章を作成し、さらにそれを印字して画面と見比べてみると大きくイメージが異なることがあります。

デジカメの画像を印刷してアルバム代わりに整理するのも、楽しいことです。

文章印刷が多い人は ppm に注意してください。1 分間に印刷される枚数です。モノクロ 4 ppm であれば、白黒の印刷で 1 分間に 4 枚印刷されます。本格的に仕事で使うということであれば、印刷のきれいなレーザープリンタをおすすめします。4～5 万円クラスのものにはカラー印刷はありませんが、文書印刷であればとても申し分ありません。

文字、画像の美しさは dpi で表現されています。dpi とはドット・パー・

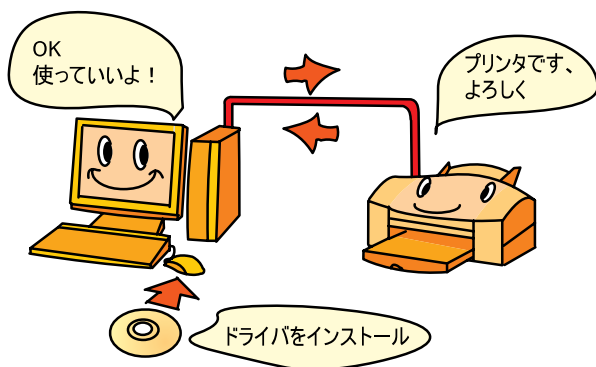
インチと読み「720×360dpiの高解像度」と表現されていれば、1インチに720×360の点で表現される印刷となります。

プリンタとパソコン本体をつ

ながなくてはなりません。これまではプリンタケーブルを使っていましたが、この頃はUSB使用のものも出てきました。

ケーブルをつなぎ、次にドライバを入れなくてはなりません。ドライバとはパソコンとプリンタをつなぐ血管です。

プリンタをつなぐ、プリンタドライバと書いたCD-ROMを入れる、ほとんどが自動的にドライバインストール画面となり、後はマウスでクリックしてだけでプリンタが使えるようになります。



• MO (Magneto Optical)

画像などを入れるとフロッピーではすぐにいっぱいになってしまうし、ある程度のデータを持ち歩きたい時、MOはとても便利です。

光磁気ディスクのことで、フロッピーの大型と考えていただければ結構です。記憶容量は128Mバイト、230Mバイト、640Mバイト、1.3Gバイトのものまであります。230M対応のもので3万円弱です。

職場と家庭で仕事をされるときには大変便利なものです。

• デジタルカメラ

写真を撮って自分の文章の中に入れたり、ホームページを作ったりすることは楽しいものです。

デジタルカメラも早めにそろえたい周辺機器の1つです。

ピクセル（画素）で性能が表現されています。どれだけの点（画素）で表現するかによります。

家庭のパソコンで扱うには120万画素程度で十分です。画素が増えるだけ大きな画像になります。それよりも、注意したいのはバッテリーの消費量です。充電式電池を使うことが多いのですが単3電池

でどれくらいの枚数撮れるのかで比較することも大切です。

CCDという言葉もよく聞きます。光を電気信号に変える機能を持つもので131万画素CCDであれば家庭用としては十分です。

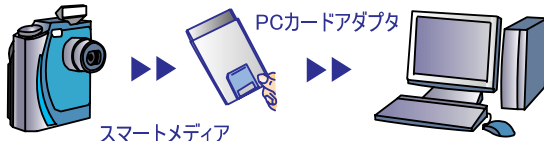
◆インターフェースセットを利用する場合



◆フラッシュバスを利用する場合



◆PCカードアダプタを利用する場合



(3) ソフトウェア

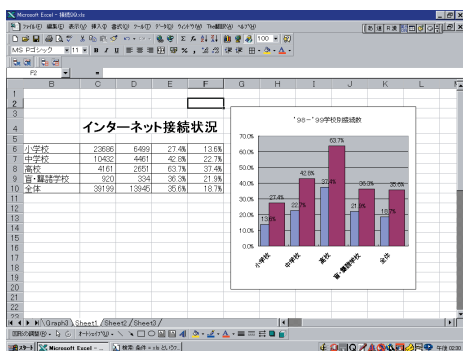
これまで説明してきたものはハードウェアです。いわば「箱」です。パソコンという箱をワープロや画像編集機に変えるものがソフトウェアです。

・ワープロソフト

説明するまでもありません。ワード、一太郎など文書処理ソフトです。学校などで使われているのもこの2つのソフトのいずれかの場合が多いようです。

・表計算ソフト

データを計算したり、そのデータを元に簡単にグラフなどを作成する



ことができます。
簡単な家計簿を作ることもできます。

・ 画像処理ソフト

デジタルカメラの画像を明るくしたり、必要なところだけを切り取ったりして加工するソフトです。小さなお子さんがいればお絵かきソフトにもなります。

画像はどんどんたまっていきますので、サムネイル処理（親指の爪の意味）によって画面に数 10 枚同時に表示できるものがないでしょう。またホームページに画像を張るときなどこの機能があるととても便利です。

